

2019 年度事業報告書

(2019 年 9 月 1 日から 2020 年 8 月 31 日まで)

核医学診療推進国民会議

1 事業実施の概要

2019 年度は政策提言に関する活動、広報・啓発活動を中心に活動した。内容としては、要望書の提出、一般向け冊子の作成、広報誌の作成・配布、用語集の作成・HP 上での公開を行った。また、当会の認知度を高めるための広報活動を積極的に行い、当国民会議の活動に参画する会員の数を増やした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 患者のアンメットニーズの調査・把握に関する活動

日本核医学会のワーキンググループや委員会で行っている患者のアンメットニーズに関する調査活動に協力した。

(2) 政策提言に関する活動

① 要望書の提出

2020 年 8 月 7 日に、日本原子力研究開発機構（JAEA）大洗研究所の高速実験炉“常陽”を用いた Mo-99、Ac-225、Ir-192 などの医療用放射性核種製造の要望書を、核医学診療国民会議、パンキャンジャパン、がんサポートコミュニティー、腺友倶楽部の連名で文部科学省研究開発局長と JAEA 理事長に提出した。

② ロビー活動

関連情報の収集を適宜行っているが、時機を見て行うべきであると判断し、今年度はロビー活動を行っていない。

(3) 啓発・広報活動

① 核医学に関する一般向け冊子の作成

核医学診療について解説した一般向け冊子を企画、作成した。2019 年度にリリース、順次配布予定。

② 広報誌の発行

会員への情報提供のための広報誌（2019 冬号、2020 夏号）を発行し、全会員へ郵送配布した。

③ 用語集（ホームページ）

核医学に関する用語の解説をホームページ上に掲載した。

(4) 核医学診療推進コミュニティの形成活動

① 会員登録の促進、意見の収集

男性がん総合フォーラム（Mo-Festa Cancer Forum 2019、主催 NPO 法人腺友倶楽部）、講演会等のイベントにて、チラシやパンフレットを配布し、広報活動を行った。また、絹谷会長が参加した学会やイベント等においても広報活動を積極的に行い、会員数を増やした。また、会員の意見を募集するページを HP 上に開設し、自由に記載いただくよう広報誌発送時に呼び掛けた。

会員種別	2019.8.31 時点	2020.8.31 時点
正会員	76 名	76 名
一般会員	150 名	219 名
賛助会員	8 社 1 名	9 社 1 名

② 企画委員会

事務局と賛助会員企業による企画委員会を組織し、プロジェクトごとに (3) 啓発・広報活動の①～③の作業を行った。

③ 他団体との連携

外部の患者会（パンキャンジャパン、がんサポートコミュニティー、腺友倶楽部）との連名で要望書を提出した。

(5) その他

① ホームページ・会員の運営管理

ホームページの運営（最新情報のアップ、保守作業、SNS アカウントとの連携）及び会員管理（会員情報の管理、会費の徴収等）を行った。

② 会員総会の開催

2019 年 6 月 2 日～12 日に web 開催方式で会員総会を開催した。(2020 年 4 月の日本核医学会春季大会中に開催予定であったが、COVID-19 感染拡大による影響で大会が web 開催となったこと、その後も感染拡大の状況が続いたことから当会の会員総会も web 開催方式とした)

③ 理事会の開催

2019 年 11 月 1 日 @松山市総合コミュニティセンター（年次報告・計画）

2020 年 3 月 16 日～23 日 メール審議（会員総会の開催方法について）

2020 年 6 月 26 日～29 日 メール審議（事務局業務委託について）

④ 事務局業務委託

2020 年 8 月より国際文献社へ事務局業務（一部）の委託を開始した。

以上